

企業を元気に、情熱系  経営マガジン

2019.7

VOL.  
52

● 特集

## 非常時のサポートに ものづくりで貢献

常磐精工株式会社 / 株式会社浪速工作所

● 「継ぐ」極意 ..... ⑤  
カリスマ創業者からの承継、  
安定して成長し続ける「年輪経営」を目指す  
太陽パーツ株式会社 城岡 正志さん

● 堺のすご腕 ..... ② ③  
新素材の開発で、「脱金型」へ  
ハイテン工業株式会社

● SAKAIの傑作 ..... ①  
働く女性の動きやすさを追求した  
しゃがんでも裾の出ないシャツ  
レオニス株式会社

# 車いすや担架に、

# すぐさま変身する置き看板



CASE

01

常磐精工株式会社  
代表取締役 喜井 充

近年、全国各地で地震や水害などの災害が発生し、甚大な被害が出ています。そうした非常な状況下で、ものづくりが貢献できることは何か。自社の事業の延長でそれを考え、非常時にも役立つ製品を開発したもののづくり企業があります。それらの製品には、日常的な製品ではないがゆえの独自のアイデアが生かされていました。

## 趣味のアウトドアで 切削加工業からメーカーへ転身

1966年の創業時は、切削加工業を営んでいた常磐精工株式会社。「賃加工では利益が十分に確保できないことから、いつか自社製品を作りたいと考えていました」と喜井社長は語っています。どのような製品が

良いのかと考え続けていた時、その答えは思いがけないところから返ってきました。

「もともとアウトドアが好きで、お腹の大きな妻と小さい子どもを連れてキャンプに行った時に、一人でも簡単にタープの張れるマストアンカーやペグがあればいいなと考えて作りました。それを知った友人の紹介で弁理士さんに見てもらったところ、これならバ



自社製作しているがゆえに、驚きの「短納期」を実現。

「例えば、新規開店される時でも看板は最後になりがち。急ぎの注文が多いので、既製品なら午前中に受注したものは即日発送し、パイプの長さを変えるぐらいの別注品なら翌日に発送しています」と喜井社長。自社生産ならではの強みといえます。

「例えば、新規開店される時でも看板は最後になりがち。急ぎの注文が多いので、既製品なら午前中に受注したものは即日発送し、パイプの長さを変えるぐらいの別注品なら翌日に発送しています」と喜井社長。自社生産ならではの強みといえます。

テントが取れるというので製品化したのが、当社のメーカーとしてのスタートです」。

やがて、アウトドア用品から園芸用品を手がけるようになり、花市場で販売していると、供花と関係の深い葬儀会社からサインの製作を依頼されるようになりました。それがきっかけで、今日では、置き型看板の完全自社生産メーカーとして、さまざまなタイプのサインやスタンドを製造・販売しています。

## 東北大震災をきっかけに 非常時に看板ができることを考えて

夜でもよく目立つLED内蔵のスタンドや、直立型のパネル一体型スタンドなど、置き看板において豊富なラインナップを誇る同社ですが、最近、学校や官公庁、介護施設、イベント会場、さら変わったところでは領事館から引き合いがあったのが、「サポートシリーズ」と銘打たれた非常搬送用可変式サインスタンドやディスプレイテーブルです。非常時には、車いすやストレッチャーとして使える置き型看板などで、工具も必要なく、誰でも簡単にすばやく車いすや担架に変形できるのが特長です。

開発のきっかけは「東北大震災のあと、宮城県知事が被災していない地域までが経済



看板のパネルを外すだけで、1分もかからずに車いすやストレッチャーに。

を萎縮させてはいけなさと語っているのに共感。看板でできることは何だろうかと考え、『がんばろう日本』というメッセージの入った看板を低価格で販売し、その売上の一部を義援金として寄付したりもしました。そして、このサポートシリーズも、看板にできることの二つとして考えたものです」と喜井社長。

万一のために車いすや担架を備えていても、いざという時に置き場所がわからなかったり、置かれている倉庫に鍵がかかっていたりすることも考えられますが、人目に目立つように置かれている看板なら、すぐに使え

るうえに、日頃からメンテナンスもしやすいことが大きなメリットだと喜井社長は語っています。

## 安全性を第一に パイプから組み方までを独自に設計

常磐精工の製品は、模倣品が作られにくいようにパイプから金具、ネジにいたるまでほぼ100%自社オリジナルです。「サポートシリーズ」の製品にも、その設計力や技術力が活かされていました。

「サポートシリーズで最も留意しなければならなかったのは安全性でした。人を乗せても十分な強度を保つため、角パイプも専用のものを開発。また、パイプ同士のジョイントも力が逃げないように金具を使わず、ダイレクトにつなぐ組み方を考案しました。その加工のための横軸タップも自社開発しています」と喜井社長。この信頼性を評価する規格がないため、大阪府立大学に依頼して強度検査を実施。高い安全性も確認されています。

「災害用だけでなく、熱中症対策に工場や倉庫に設置するための注文も増えています。お年寄りやけが人などの要介護者の搬送など、日頃から活用いただけたら」と喜井社長。AEDのように、街のいたるところにサポートサインがあるのが当たり前前の風景になってほしいと願っています。



ヒット製品はすぐに模倣されるため、部品はすべて市販品と規格が異なる同社オリジナル。

### 常磐精工株式会社

代表者名／代表取締役 喜井 充  
 本社／堺市北区常磐町3-19-3  
 TEL／072-255-1287  
 設立／1966年設立  
 資本金／2,000万円  
 従業員数／18名  
 事業内容／各種スタンドの製造・販売  
<http://www.tokisei.co.jp/>



CASE

02

株式会社浪速工作所  
代表取締役社長 谷本 和考

# 高い浄化能力を持った ろ過装置を低コストで

途上国の子どもたちに  
安全な飲み水をという思いに共鳴して

阪神淡路大震災や東北大震災、熊本大震災など大きな地震が相次ぐなかで、被災者が最も困ることの一つに、飲料水や生活用水の確保が挙げられています。浪速工作所がこのたび開発したのは、こうした非常時に

役立つ小型ろ過装置「Wクリーン」です。開発のきっかけは、ある出会いでした。

「昨年のある国際展示会に出展した時に、図面を持ってそれを製作できる企業を探し回っている方に声をかけられたんです。浄化装置を企画販売する日本スレッド(株)の常松健二会長でした。どの会社にも無理と言われた設計図でしたが、当社はその装置

の使用用途や使用環境などを聞いた上で、図面通りでなくても目的を果たせるものを提案することを得意としています。話を聞

けば、世界には安全な飲み水がないために20万人の子どもたちが亡くなっているとのこと。日本の浄化技術は世界一だけれど、価格も高い。途上国にできるだけ低価格のろ過装置を届けたいという常松会長の熱い思

いに共鳴し、うちなら作ることができると約束したのです」と谷本和考社長。そして、奇しくもこの製品開発が、ずっと谷本社長の念頭にあった自社ブランドへの道を開きました。

「当社は水や環境を事業としている大手メーカーをお得意先として、パイプ用の押出金型などを設計・製作するなど、日本の水道事業の発展に貢献してきたイノベーターだと自負しています。しかし、将来も成長し続けるためには下請けから脱却し、自社ブランドを確立させる必要があると思っていました。それがどうすれば叶うのか模索しているさなかの出会いだったんです」。



社員の平均年齢は30代。若手技術者の育成に注力している。

## 2種類のろ過機能で 高い浄化機能と低コストを両立

小型ろ過装置「Wクリーン」は、途上国で使用することを前提に、製造コストだけでなく、設置やその後の管理にかかるコストの低減も図られた製品です。一般的なる過装置は、塩素に耐性のある非常に小さな原虫クリプトスポリジウムを膜ろ過で除去しますが、2μほどの原虫を除去するために0.1μの膜ろ過を使用するのはオーバースペックだと考えた谷本社長は、1つの装置内に2種類のろ過機能を収めました。まず、らせんによる遠心分離で大きな不純物を除いたあと、独自に開発したフィルターで原虫を除去するというものです。



小型ろ過装置「Wクリーン」



目詰まりしやすい膜ろ過を使用した装置に比べて、コストは5分の1に抑えられたうえ、ろ過スピードは20倍、耐久性は40倍に向上。1台あたり1日10tのろ過が可能で、連結することで必要な水量を確保することができます。さらに搬送しやすい小型化を実現。部品点数も最小限にしたため、設置やフィルターの交換に専門知識が必要なく、現地のスタッフによる管理を可能にしています。こうしたランニングコストを含めて、装置としてのコストは100分の1以下。そして、この「Wクリーン」の特長はそのまま、日本国内でも防災用として期待されるものです。

## アイデアを形にする高い技術力で 下請けから脱却「共創型企业」へ

日本国内の飲料用浄水施設や家庭での使用が認められるよう、準備中ですが、「Wクリーン」はすでに国内では、食品会社の瓶の洗浄用や、機械部品に使う水溶性洗浄剤のリサイクルなど、飲み水以外の用途で採用されています。

独自の企画開発力で、これまで3千を超える製品を世に送り出してきた浪速工作所。開発費の調達から量産までのスケジューリングなど豊富なノウハウを生かして、今後は、解決すべき社会課題に気付きアイデアを持つている企業と対等な立場で連携する「共創型企业」を目指す考えで、すでに7つ目のプロジェクトも動いています。

「中小企業の二社は弱くても、もし全国の中小企業が集まって一つの企業体になったら強力ですよね。まず、堺市の『第二創業促進支援事業』の対象企業に選ばれた5社で、二つのブランドを作つていこうと取り組み始めました。いつか社内にはラボを作り、学生さんや、当社によく遊びに来られる技術者のOBたちが集まるコミュニティになればと考えています」と谷本社長、ものづくりが好きで好きでたまらないといった笑顔で語っていました。



CADルームで設計を行いながら、工場の稼働状況を把握できる。

### 株式会社浪速工作所

代表者名／代表取締役 谷本 和考  
 本社／堺市南区高尾3-3287-2  
 TEL／072-271-5931  
 設立／1946年設立  
 資本金／1,000万円  
 従業員数／30名  
 事業内容／プラスチック金型・装置・自動ライン・治具・  
 工具・機械の設計・製作・据付・修理  
<http://www.naniwakousaku.co.jp/>

# 「継ぐ」 極意

専務取締役  
城岡 正志さん

来年には創業40年を迎える太陽パーツ株式会社。ベースとなる共用金型にカスタマイズ用の小さな金型を入れる特許技術「カセットシステム」や、システムキッチンや昇降戸棚などを自社開発したほか、「商店」というチーム制で売上や人件費などを管理させるマネジメント法を導入するなど、創業者である城岡陽志社長のカリスマ的経営が目まぐるしく続いている城岡正志専務は「現社長の後を継ぐなんて、プレッシャーしかありませんよ(笑)」と語っています。

城岡専務は2002年の入社当時「会社を継ぐ」とは全く頭になかったといいます。「会社の経営は、できる人がやればいいとずっと考えていました。承継を意識しだしたのは、数年前からです。きっかけは、上海工場の責任者を経て、関連会社である太陽キャスト株式会社の社長に就任したことです。経営を考える良い経験になりました」と話しています。

城岡専務が経営者として目指すのは、ある食品会社が経営理念として掲げて脚光を浴びた「年輪経営」。「急速な成長は、それに対応するために会社を急ぎ大きくしなければなりません。その成長が鈍化した時に逆に縮小するのは大変です。少しずついいから、コンスタントに成長し続ける会社になりたい。そこで今後注力していきたいのが医療や介護の業界です。年間の成長率は2〜3%ですが、安定して伸び続けることは間違いないでしょう」。

カリスマ性の高い現社長と比較されるのは覚悟の上。むしろ、経営者二人に依存しない組織だった経営を目指そうと、現在の商店制を活かして経営意識の高い管理職を育てていこうと考えています。「高い信頼性が求められる事業領域に特化すれば、日本のものづくり企業へのニーズはまだあります。今後ますますものづくりが楽しみです」と力強く語っていました。

カリスマ創業者からの承継、安定して成長し続ける「年輪経営」を目指す

## 太陽パーツ株式会社

堺市北区八下北1-23 TEL.072-259-9339

当初は機械部品商社として、1980年に創業。その後、金属から樹脂、ゴムなどのあらゆる素材をさまざまな加工技術を駆使して製品化し提案する「メーカー機能と商社機能を併せ持つ技術集団」へ。技術力の高さから大手機械メーカーや家電メーカー、住宅メーカーから厚い信頼を得ており、自社開発したシステムキッチンの昇降戸棚はトップシェアを誇る。





# 堺の伝統産業を世界へ、フランス生まれの立役者

伝統産業インバウンド・海外需要開拓戦略コーディネーター  
エリック・シュヴァリエ

「これからは、若い職人さんたちによる新しいデザインの堺打刃物も誕生してほしい」とシュヴァリエさん



鍛冶の修行体験を活かした説明が現地でも好評

堺の伝統工芸品「堺打刃物」が海外の料理人たちに注目されるなか、堺市はニューヨークやシンガポールなどに続いて、フランスでのセールス活動にも取り組み始めています。昨年10月には、パリで開催された世界最大級の食品見本市「シアル・パリ2018」に出展したほか、プロのシェフたちを対象としたメンテナンス実演を行いました。そこで大きな役割を担ったのが、伝統産業インバウンド・海外需要開拓戦略コーディネーターのエリック・シュヴァリエさんです。堺の伝統産業の魅力などについてお話をうかがいました。

最近、堺区材木町にある「堺伝統産業会館」を訪れる欧米からの観光客が増えています。英語とフランス語が話せるシュヴァリエさんの丁寧なガイドがSNSなどを通じて知られ始めたのでしょうか。「私も個人的な



フランスでのプロモーション活動で

ブログで、7年前から堺のさまざまな魅力を発信してきました。そのブログを見て訪ねてくれた観光客もいて、とても嬉しいです。

自身も堺で鍛冶の修行を重ねた体験を持ち、堺打刃物のすばらしさをよく知るシュヴァリエさん。歴史や製法などの深いところまで興味を持つ観光客には、じっくりと説明している間に1〜2時間経っていることも珍しくないのだとか。

「海外（仏）での和包丁のブームは10年ぐらい前から始まりましたが、本当の良さを知るシェフは少なかつた。昨年10月にフランスで行われたプロモーションでは、研ぎ直しの実演を通して、何十年と切れ味の変わることのない堺打刃物のすばらしさを紹介でき、とても喜んでいただけました。あわせて、堺の醤油や麴製

品といった調味料も紹介できたのも良かったですね。次の6月のフランスでは、詳しく刃物作りの工程を見てもらう予定で、（※）より堺打刃物の良さがアピールできると考えています。」と語っています。堺伝統産業会館では和菓子や線香などもPRできるよう、自ら製造現場に足を運んで職人さんたちの話に耳を傾けることも。そうしたシュヴァリエさんにとって、堺の魅力とは「京都のようなきらびやかさはないけれど、特別な観光スポットではないお寺や神社などを巡るなかで、日常の日本の暮らし、文化を見てもらいたいと思いますね。友人たちに頼まれて休日に堺を案内すると、今度は泊りがけでゆっくり訪ねたいと言ってくれます。関西国際空港にも近いし、堺のポテンシャルは高い。今後の課題としては、外国人観光客向けのサインが充実されたいですね」。

※取材は5月に行われました。

## エリック・シュヴァリエ

1989年にパリ郊外に生まれる。大学で日本文化を学んだあと、2012年来日。堺の鍛冶「佐助」のフランスでの個展を手伝ったのを縁に、「佐助」の5代目・平川康弘さんに弟子入り。2015年にはフランスの新聞社から、海外で活躍する若者を対象とした「希望の星」賞を受賞。2018年4月より現職。古墳巡りが趣味。

# IPCスマートものづくり導入支援センターを開設しました！！

中小企業が抱える喫緊の課題である人材不足の解消や生産性の向上を図り、中小企業の持続的発展を支援するため、堺市産業振興センター内に、IoT機器、AI、ロボット等に関する相談窓口を設置し、市内の中小企業へのスムーズな導入に向けた支援を致します。

## ◎事業概要

堺市産業振興センター内に、IPCスマートものづくり導入支援センターを設置し、IoT機器、AI、ロボット等の導入を考えている堺市内の中小企業向けに、窓口相談（月1回、事前予約制、原則第3木曜日）、内容により、現地診断によるコンサルティング支援を行います（原則6回まで）。

その他、IoTやAI、ロボット関連のセミナーの開催、先進導入企業への見学会の実施も予定しています。

## ◎対象について

IoT機器、AI、ロボット等の導入を考えている堺市内の中小事業者等

## ◎スマートものづくり導入支援補助金について（堺市役所）

スマートものづくり導入支援センターの現地診断等の支援を受けた市内中小事業者を対象にIoTやAIを導入する経費を補助します。

**補助率：**補助対象経費の2分の1以内（経費総額30万円以上のもの）、**補助上限：**50万円

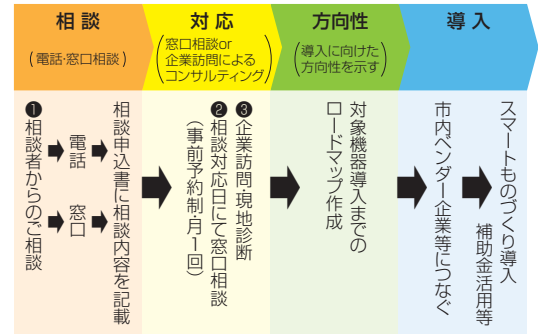
## お問合せ先

IPCスマートものづくり導入支援センター（公益財団法人堺市産業振興センター 経営支援課内）

TEL 072-255-6700 / FAX 072-255-1185 / Email keiei\_shien@sakai-ipc.jp

（スマートものづくり導入支援補助金に関しては、堺市ものづくり支援課にお問い合わせ下さい。TEL 072-228-7534）

## 相談から導入までのイメージ図



# 「第4回 名古屋 機械要素技術展」に堺の優れた技術を持つ企業が出展！

堺市産業振興センターでは、新たな販路開拓を積極的に行う堺市内の中小企業を支援するため、大規模な集客が見込まれる機械要素・加工技術を集めた大規模展示会への共同出展を行っています。

本年度は、4月に開催された「第4回（名古屋）機械要素技術展（会場：ポートメッセなごや）」に、優れた技術を有する企業5社が出展し、各社の特徴的な技術をサンプルなどを用いてわかりやすく紹介、多くの方にブースにお立ち寄りいただき、大盛況のうちに終わることができました。



\* 2019年4月開催 第4回 名古屋 機械要素技術展風景

## 【第4回名古屋機械要素技術展共同出展社】

1. アルスコーポレーション株式会社  
刃物類開発製造  
<http://www.ars-edge.co.jp/>
2. 植田アルマイト工業株式会社  
金属表面処理  
<http://www.uedaalmite.co.jp/>
3. 株式会社日本鑄造技術研究所  
鑄造／溶射  
<http://www.nittyu-ken.com/>
4. 日本フッソ工業株式会社 表面処理  
<http://www.nipponfusso.co.jp/>
5. ハイテン工業株式会社 金属加工  
<http://www.hitent.co.jp/>

来年2020年1月15日（水）～1月17日（金）に実施される「第12回（東京）オートモーティブワールド（会場：東京ビッグサイト）」に、優れた技術を有する企業3社が出展します。ぜひお越しください。

## 【第12回 オートモーティブワールド（東京）共同出展社】

1. 太田鉄工所  
金属精密加工 <http://www.ota-smile.com>
2. 八田工業株式会社  
金属熱処理 <http://www.hatta.co.jp/>
3. 富士高周波工業株式会社  
金属熱処理 <http://www.fuji-koushuha.co.jp/>

名古屋機械要素技術展 <https://www.mtech-nagoya.jp/>  
 オートモーティブワールド <https://www.automotiveworld.jp/>  
 主催：リードエグジビションジャパン株式会社

## お問合せ

公益財団法人堺市産業振興センター 経営支援課

TEL 072-255-6700 / FAX 072-255-1185 / Email keiei\_shien@sakai-ipc.jp



# 今年の注染アロハシャツ

堺市産業振興センターでは、今年も堺注染和晒興業会が「注染」技法を用いて作った、オリジナルの新作シャツの販売を行います。

「注染」技法で作られた生地は、通気性・吸水性にすぐれ、肌ざわりがやわらかいことから、日本の夏には欠かせないもの。

今年の夏は、注染アロハシャツで涼しくお過ごしください。

金額 11,000円(税込)

販売店 観光案内所(堺東・堺駅)、堺伝統産業会館

サイズ S~4L ※ご来店前に、在庫状況をご確認ください。

新色注染  
アロハシャツ▶



～注染和晒～ 明治20年ごろに堺市の石津川沿いでは、水や日光といった自然が豊かなこと、綿織物の特産地であった泉州に近いこともあり、ゆかたや手拭いの生地である「和晒」の大産地として発展しました。のちに「注染」という伝統技術と結びつき、堺は「晒」と「染色」を一貫してできる全国でも稀な地域になりました。手染め注染には、表現力の優れた「ぼかし技術」があり、微妙なタッチや奥深さが味わえ、使い込むほどに手染めの風合いがでてくるのが特徴です。

# 貸会場「イベントホール」のご案内

## ●「シーズン割引」を実施

令和元年8月13日(火)～8月15日(木)の期間(開館時間は9時～17時)でイベントホールをご利用の場合、施設使用料の50%を割引させていただきます。

なお、直前割引(20%を割引)と重複する場合はシーズン割引のみを適用いたします。詳しくはお問合せ下さい。

## ●改修工事について

来年度、イベントホールの大規模な改修工事を予定しております。

これに伴い、**令和2年5月1日～令和2年10月頃まで**イベントホールの使用を停止させていただきます。

ご利用の皆様にはご不便をお掛けしますが、ご理解を賜りますようお願い致します。

## お問合せ先

堺市産業振興センター 貸会場お問い合わせ先

TEL:072-255-0111 センターホームページ(<https://www.sakai-ipc.jp/>)



イベントホール(ホール形式)



イベントホール(展示会形式)

中小企業を  
全力応援



公益財団法人

堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

スマートフォンやタブレットで読める!  
ざかいIPCプレス デジタルブック配信中

無料の専用アプリ、ブラウザでも閲覧OK!

▼ 便利な機能がいっぱい! ▼

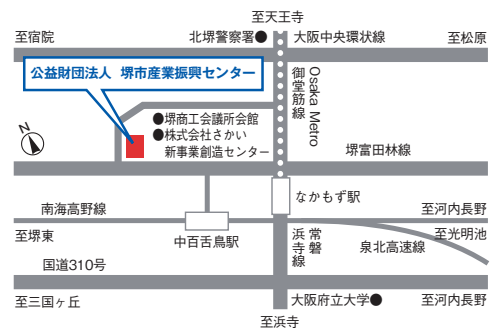
10言語対応

[日・英・中(簡体)・中(繁体)・韓・タイ・ポルトガル・インドネシア・スペイン・ベトナム語]

文字ポップ  
アップ機能

本文音声  
読上げ

※ベトナム語は音声読上げ機能には対応していません。



◎南海高野線中百舌鳥駅より約300m◎Osaka Metro御堂筋線なかもず駅より約300m※駐車場は、隣接の来客用駐車場(無料)がござい  
ますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5  
TEL.072-255-3311(代) FAX.072-255-5200  
<https://www.sakai-ipc.jp/>



高い信頼性が求められる、自動車用ナットの鍛造用金型

阪府立大学と共同出願して特許も取得しています。

### 超々合金の加工技術を活かし 航空機用部品の自社製作を

大変な苦勞をして開発したニッケル基超々合金の熱間鍛造用金型は、多くの企業の関心を集め、現在は十数社でテスト中だとか。しかし、佐伯社長が将来的に目指すのは「脱金型」。ニッケル基超々合金を用いて、自社で航空機用部品を製作したいと考えています。

「金型は結局、得意先企業の設備なので、景気が悪くなれば発注が控えられるなど、自社努力でどうにもならない影響を受けます。特殊な金型づくりのために必要な設備と技術を有する当社は、金型だけでなくあらゆるものづくりが可能だと自負しており、社員にも、自分たちが

作っているものはこれだということを見せてやりたい。非常に硬いとされるものを加工できる特殊な技術は当社の強みであり、さまざまなニーズに応えられると思っています」。

同社の独自技術の高度化に向けた日々の取り組みに対して、昨年には「大阪ものづくり優良企業賞2018」の「夢・未来・ORIST賞」が授与されています。まさに「夢」ある「未来」が期待される企業です。



研究開発型企業の同社にとって、技術者の確保は大きな課題。

「冷間鍛造用金型で優位性を保ってきましたが、ニッケルやチタンといった非常に硬い特殊な材料に冷間鍛造は不向きで、熱間鍛造でなければなりません。しかし、超硬合金は高温に弱かったのが、新たな素材を開発する必要が生まれたのです。ニッケルをベースにアルミ・バナジウムなどのさまざまな素材をブレンドし、これまでにない全く新しい素材の開発を目指しました。大学の研究室で使うサンプル程度の大きさで成功しても、金型を作るサイズの塊となると、巣が入るなどして何度も作り直し。高価な材料が次々と無駄になるんですから、その開発当初の2年間は本当につらかったですね」と佐伯社長。しかしその甲斐あって、600℃を超える高温でもビッカース硬さは低下せず、700℃以上では超硬合金よりも硬い「ニッケル基超々合金」を用いた熱間鍛造用金型の開発に成功。大

#### ハイテン工業株式会社

代表者名／代表取締役社長 佐伯 知哉  
本社／堺市美原区平尾679  
TEL／072-361-8110  
設立／1950年創業 1961年設立  
資本金／1,200万円  
従業員数／43名  
事業内容／冷間・熱間鍛造用金型の設計・製造・販売  
<http://www.hitent.co.jp/>





電気による放電エネルギーを利用して加工する「放電加工機」。

## 新素材の開発で、「脱金型」へ

### ハイテン工業株式会社

#### 超硬合金を使った金型製作の パイオニア企業

戦後間もない1950年の創業時から、当時は非常に珍しかった超硬合金を扱っていたというハイテン工業株式会社。日本で初めて、超硬合金で絞り金型を製造した企業であり、その技術は今日まで脈々と磨き続けられてきました。自動車用ホイールナットやスピンドルナットの量産に使用する冷間鍛造用超硬金型では、国内シェア約70%を誇っています。

同社が冷間鍛造用金型に注力する理由について、佐伯知哉社長は「材料に熱を加えて鍛造する温間鍛造や熱間鍛造と比べ、冷間鍛造は常温で鍛造するため、熱などで収縮して寸法精度が失われることがなく、高付加価値な製品づくりに向いています。また、超硬合金を加工できる同業者が非常に少ないため、価格競争に陥ることもありません」と語っています。特に、同社が独自に開発した「割形状金型」は衝撃力を分散させるため、型の寿命もボルト製品の品質も飛躍

的に向上させるとして、4件の実用新案と特許を取得しています。

#### チタンなどの加工のために 高温に強い超々合金を開発

このように「研究開発型企业」として業界を牽引してきたハイテン工業が、堺市ものづくり新事業チャレンジ支援補助金を受けて、大阪府立大学と共同で開発に取り組んだのが「ニッケル基超々合金」です。

## SAKAIの傑作

### 働く女性の動きやすさを追求した しゃがんでも裾の出ないシャツ

しゃがんだりした時に、スカートやパンツから出てくるシャツの裾。そのたびに、押し込み直すのが面倒だと感じている人は少なくないでしょう。レオニス株式会社が企画販売している「ボディシャツ」は、シャツの裾を股下で留めているため、どれだけ動いても裾が出てくることはありません。背中がシャツですっぽり覆われるので、かがんだ時に背中とパンツの間から下着が見えるということがないのも、女性にとっては安心です。製品化のきっかけは、小倉清社長が雨の日に、傘をさして歩く女性が、シャツの裾が出ていることをしきりに気にしているのを見たことでした。「こうした着崩れをシャツで解決できれば」と思ったのです。

ボディシャツをはじめとする、同社オリジナルブランドのシャツは、一日中着いてもシワになりにくく、しかも通気性の良い生地から開発。洗濯後のノーアイロンも実現しています。白生地ゆえに気になる透け感もなく、紫外線は99%カット。さらに抗菌防臭加工まで施されて、働く女性には至れり尽くせりです。海外展開にあたって苦労したのはサイズ表示だとか。6Lまでの8サイズをラインナップしたほか、3体型に分かれ、計24サイズも用意されているのには驚くばかりです。

#### レオニス株式会社

代表者名/代表取締役社長 小倉 清  
本社/堺市北区百舌鳥陵南町3-56  
TEL/072-278-5941  
設立/1971年創業  
資本金/1,000万円  
従業員数/11名  
事業内容/生活雑貨の企画・製造・販売、  
レディースシャツの素材開発、企画、製造、販売、  
E-Commerce小売業の運営(衣類、雑貨)  
<https://www.leonis-sf.com/>



着用例

▲企画商品「ボディシャツ」  
(シャツの裾を股下で留めているため、どれだけ動いても裾が出てくることはありません。)